

7月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/07/01 (金)	東京はレンジ内での揉み合い。短観は予想を上回る好数字になったものの円買いは限定的。欧米はドルが急伸。米債利回りが4%を上回ったことなどを材料にドル買い進む。対ユーロ含めて独歩高。	・日銀短観大企業製造業DIは18 ・6月のユーロ圏製造業PMI49.9 ・6月のシカゴ大指数確報96.0、同ISM製造業景況指数53.8	・谷垣財務相「円安傾向、日米金利差拡大が一因」 ・小泉首相「優勢民営化法案、廃案なら内閣不信任」	110.73 110.62 111.79 111.77	133.86 133.40 134.28 133.65	寄付 安値 高値 終値
05/07/04 (月)	東京は円が小幅に戻す。とくに大きな材料は見られなかったが調整的な動きが優勢。米国休場となるなかユーロが小幅安。仏中銀発言を嫌気したユーロ売りが目に付いた。	・週末都議会選で自民微減、民主第2党へ ・NYが独立記念日で休場	・英オブザーバー紙「景気減速で英中銀が利下げ準備へ」「独テレコムが米子会社をモバイルフォンに250億ドルで売却か」 ・仏中銀総裁「ユーロ加盟国が統一通貨から離脱するのは自由」	111.72 111.32 111.74 111.60	133.34 132.55 133.39 132.84	寄付 安値 高値 終値
05/07/05 (火)	東京は午後後に掛けて円安。郵政民営化法案の僅差可決を嫌気した動きから海外勢の円売り優勢。欧米は一転ドル小幅安。MNS報道からユーロ買いドル売りでスタート。その後ドルは対円でも弱含み。	・郵政民営化法案の衆院採決、賛成233・反対228の僅差で可決 ・5月の米製造業受注2.9% ・ハリケーンが米南部に接近、原油相場に大打撃	・MNS報道「年初来のユーロ下落は75BPの利下げに匹敵」	111.65 111.45 112.13 111.73	132.98 132.82 133.36 133.07	寄付 安値 高値 終値
05/07/06 (水)	東京は小動き。週末にかけてサミット米雇用統計発表など材料が多く、模様眺め。欧米で円は急落。原油価格の上昇を嫌気した売り目立つ。また五輪決定のご祝儀買いがポイント強い。	・豪州中銀が金利据え置き決定 ・財務省人事で渡辺財務官ら「為替ライン」は揃って留任 ・2012年夏の五輪がロンドンに決定 ・6月の米ISM非製造業景況指数62.2	・SL連銀総裁「慎重なベースが25BPの利上げ継続と市場は認識しているが状況次第だ」	111.68 111.46 112.29 112.17	133.19 132.93 133.85 133.85	寄付 安値 高値 終値
05/07/07 (木)	東京はほぼ揉み合い。一時円買いも見られたが時間外先物で原油高が続いており足枷に。欧米は荒れ模様。ロンドンでテロ発生との報からポンドととも一時ドルが急落。ただ終盤にかけ値を戻す。	・6月の外貨準備高8435.37億ドル ・サミット狙った(?)爆弾テロ事件がロンドンで発生、死者だけで100人超す ・英国が金利の据え置きを発表 ・ECBが金利据え置きを発表	・英首相「ロンドンがG8のタイミングに併せてテロ攻撃を受けたことは明らか」、アルカイダ関係のテロ組織から犯行声明も	112.26 111.48 112.33 112.10	133.91 133.44 134.40 133.96	寄付 安値 高値 終値
05/07/08 (金)	東京はドルがじり高。テロの影響も一時的でドル買い強強い。機械受注の悪化を受け午後ドル/円が上昇。欧米は引き続き荒れ模様。その中心は連関のウリが多いポンドだがドル絡みも荒れ値動き続く。	・5月の機械受注 6.7% ・6月の米失業率5.0%、同非農業者雇用数14.6万人 ・G8共同声明発表、通貨については言及せず	・前日の英テロを受けて「BOEが緊急ミーティング検討(のちに当局が否定)」「LDNユー・ストン駅が不審物で閉鎖」など情報・ウリが錯綜	112.17 111.78 112.60 112.18	133.89 133.60 134.31 134.25	寄付 安値 高値 終値
05/07/11 (月)	東京はドル安。ユーロが対ドルで堅調裡。円もユーロに連れ高となりドル/円は下方向に振れ易い。欧米はドル安と言うよりユーロ高。東京からの流れを継いでユーロ買いに強い安心感。	・週末の国民投票でルクセンブルグでEU憲法が承認される ・一部報道「UAEが外貨準備分散で5%をユーロで保有も」	・中国国家外為管理局局長「単なる人民元切り上げではなく、柔軟な相場を目指す」 ・アルムニア欧州委員「ユーロ安は懸念せず。過去数年間の平均水準」	112.22 111.68 112.24 111.80	134.29 134.07 135.15 134.98	寄付 安値 高値 終値
05/07/12 (火)	東京でドルは急落。米貿易赤字拡大のウリなどを背景にドルロングを縮小する動きが活発。欧米はドル安もさることながらユーロ高。欧州利下げに否定的な発言相次ぎユーロの買い材料に。	・翌日発表の米貿易赤字が過去最大に膨らむ、とのウリあり ・カナダが金利の据え置きを発表、しかし声明で「近いうちに利上げはありうる」	・仏中銀総裁「利下げはインフレリスクがなくなった時のみ可能」 ・ガナエCB政策委員「金融政策は適切、金利は非常に緩和的」 ・独連銀総裁「ECB利下げは経済に寄与せず」	111.76 110.75 111.79 110.80	134.73 134.63 135.74 135.62	寄付 安値 高値 終値
05/07/13 (水)	東京は前日から一転ドルが急騰。とくにNYタイムズ報道の出た午後大きく上昇を見た。欧米でドルは続伸。前日の下げをすべて取り戻す動きとなり独歩高。既出だが財政赤字縮小を好感。	・5月の経常収支1兆3776億円、同貿易黒字4743億円 ・日銀が政策金利ならびに当座預金目標の据え置きを発表 ・ロンドンで爆弾騒ぎ ・5月の米貿易赤字 553億ドル	・NYタイムズ「税収好調で米財政赤字が1000億ドル減少」(その後実際に発表された財政収支見通しが940億ドルも改定される) ・7月日銀月報「景気は回復を続けている」と判断を上方修正	111.08 111.00 112.28 111.88	135.72 135.16 135.85 135.32	寄付 安値 高値 終値
05/07/14 (木)	東京は前日大荒れただけに比較的静かな値動き。112円挟みで一進一退。欧米で再び円安が進行。円買いの足枷になっていた原油価格は下落したがユーロ中心に円売り止まらず。	・6月の米小売売上高1.7%、同CPI0.0%	・イッソグ ECB専務理事「現在の金利は適切」 ・米財務長官「米国は財政赤字縮小への強いトレンド上にある」	112.05 111.65 112.38 112.35	135.33 134.81 135.95 135.75	寄付 安値 高値 終値
05/07/15 (金)	東京は結果ドル安。人民元切り上げ思惑から円が買われ、ECB利下げ懸念後退でユーロが買われた。欧米は再びドル買いの流れ。発表された米経済指標は良好なものも多く、ドルの買い材料に。	・7月の米インフラステータス「123.9、6月の米鉱工業生産0.9%、同設備稼働率80.0%、5月の米卸売在庫0.1%」	・英FT紙「中国が8月に人民元を切り上げるとの見通しを示した」 ・ケリックECB理事会メンバー「ECBの利下げ、わたしの頭には選択肢はない」	112.30 111.76 112.43 112.15	135.85 134.93 136.05 134.97	寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで